



うちのイチ押し!

大阪市

こどもカーニバル2022



市内の青少年団体などの協力を得て、全市の子どもたちが家族や友達と楽しく遊べるこども同士の交流の場として、わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

- セレモニー広場…子どもたちによる鼓笛隊やブラスバンド等の演奏などが行われます
- わんぱくひろば…スタンプラリー、ゲーム、ストラップ工作など
- 模擬店コーナー…フランクフルト、フライドポテト、ジュースなど
- 遊び体験コーナー ● ミニSLコーナー ● ミニオリンピック ほか

自由
入場

日時 **4月24日(日) 10:00~15:00**

場所 大阪城公園 太陽の広場、野球場 (JR「大阪城公園」、Osaka Metro「大阪ビジネスパーク」)

対象 どなたでも 費用 入場無料 (コーナーにより一部有料)

※雨天中止 (小雨決行) のほか、感染症等の影響により中止または延期・実施内容を変更する場合があります。

お問い合わせ

大阪市総合コールセンター

(年中無休・8~21時)

電話: 4301-7285 FAX: 6373-3302

大阪市こどもカーニバルとは

市内の青少年団体などの協力を得て、子どもたちの健全な成長を願い、昭和54(1979)年から開催しています。子どもたちによる演奏や開会宣言、大型のこいのぼりの掲揚など、子どもたちが主役となって活躍し、工作、ゲームなど子どもたちが家族や友達と楽しく参加できる多彩な催しで、一日中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。



主催: 大阪市 実施主体: 大阪市子ども会育成連合協議会



おおさか

歴史探訪

166

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

アートな中之島のさきがけ—「グタイピナコテカ」「鷲と少女の像」—

2022年2月2日、待ちに待った大阪中之島美術館が開館しました。隣接する国立国際美術館や中之島香雪美術館とともに、いま中之島の西部がアートの街として活気づいています。今回はそのアートスポットのさきがけについて紹介したいと思います。

かつての中之島は、江戸時代には諸藩の蔵屋敷がひしめく場所でした。そこにあった大きな土蔵を改装して、具体美術協会を主宰する前衛芸術家の吉原治良(1905-1972)が「グタイピナコテカ」という展示施設を1962年に開館しました。それは土佐堀川に近い、いま三井ガーデンホテル(北区中之島3-4-15)が建っている場所です。ピナコテカとはイタリア語で絵画陳列所の意味です。1970年に閉館するまで、前衛美術運動の拠点として国際的にも注目されていました。大阪市の顕彰史跡の一つでもあります。

つづいて堂島川に面した側にあるダイビル本館にある彫刻を紹介します。このビルは2013年に竣工した地上22階建ですが、その低層部は1925年に完成した旧ビルの外装煉瓦や装飾された石柱などを取り外して再利用するという、とても手間のかかる仕事をおこなってつくられています。その中央玄関上に大國貞蔵(1890-1950)が制作した「鷲と少女の像」があります。これも旧ビルにあったものを同じ場所に再設置したもので、「近代大阪を彩る都市芸術」として大阪市指定文化財となっています。鋭い眼光と爪をもった3羽の鷲の上に、ギリシャの女神のような薄衣を纏った少女が右手を斜め上に向けて立っています。大國は大阪生れの彫刻家です。若くして実力を認められた作家です。旧ビルの設計に携わった建築家・村野藤吾(1891-1984)とも親交がありました。大國がこの作品に込めたテーマはよくわかりませんが、オフィスビルの玄関であることから、鷲は当時のビジネスマンの姿、少女はその内なる魂のあり処、例えばピュアな向上心のようなものを示しているようにも思われます。

中之島の南北両岸には遊歩道があり、この季節の散策には打ってつけです。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



ダイビル本館(北区中之島3-6-32)玄関上にある「鷲と少女の像」